「いいとこ撮り」は、広報担当者が見つけた町の
魅力やホットな話題をお届けするコーナーです。

いいとこ撮り

収穫の秋　妹背牛の味覚を道内各地へ！

ジンギスカン丼を求め、行列ができた札幌のブース

販売を手伝う町応援大使の山下彩耶さん

来場者に特産品を販売するそらちのブース

新得町で妹背牛産米を販売

９月下旬、札幌市の大通公園で開かれた「さっぽろオータムフェスト」に出店し、町の特産品をＰＲしました。人気の「妹背牛ラムジンギスカン丼」を求めて長い列ができ、９月 26 日には町応援大使の山下彩耶さんも販売を手伝い、ブースを盛り上げました。

10 月 11 日には、岩見沢市の「そらちオータムフェスティバル」に出店。町の特産品を販売し、来場者に妹背牛の味を届けました。

また、９月 12 日には十勝管内新得町で妹背牛産米を販売し、販路拡大とふるさと納税のＰＲにも取り組みました。

地域おこし協力隊通信

妹背牛町に在籍する地域おこし協力隊員の活動状況などを紹介します。

チャン・ミー・リン・ガン さん

10 月１日に辞令を受け、地域おこし協力隊として新たな一歩を踏み出したガンさん

ベトナム出身のチャン・ミー・リン・ガンさんが10月１日、妹背牛町の地域おこし協力隊に着任しました。日本の文化に憧れ、大学で４年間、日本語を勉強。卒業後は母国の日系企業で働き、建築図面をもとに見積書を作成する仕事などを経験しました。

日本語を学んできた一方、仕事では日本語で会話する機会が少なく、日本で暮らしながら言葉や文化への理解を深めたいという思いを抱いていました。

働きながら留学に向けて準備を進め、昨年10月に来日。上川管内東川町の日本語学校で１年間学びました。

初めての日本での暮らしは、長年の夢がかなった喜びと、新たな発見に満ちたものでした。都市部とは異なる穏やかな雰囲気や町民の優しさに触れ、充実した日々を過ごしたといいます。

関心を寄せる日本文化は、茶道や生け花です。東川町では学校のイベントで茶道を体験。「テレビで見て憧れていた文化に触れることができました」と振り返ります。日本の食べ物では、うどんやスープカレーがお気に入り。妹背牛町についても事前に調べ、温泉やお米に関心を持ったほか、「カーリングにも挑戦したい」と楽しみにしています。

これからの目標は、「仕事や日々の会話を通じて日本語に磨きをかけ、日本の働き方を学ぶ」こと。まずは日本語能力試験Ｎ２への合格を目指しながら、町内で生活するベトナム人へのサポート活動に一歩ずつ取り組んでいきます。